

恋の季節がやってきた

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
97号

2025年
7月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



同居を行いました！

5月から7月にかけて、クマ達は繁殖期に入ります。クマ牧場では毎年この時期に、メスとオスを繁殖のために同居させる「ペアリング」を行います。

今年ではカリン(6歳・メス)とフク(10歳・オス)、ミスキ(6歳・メス・ハル(6歳・メス)とタカオ(6歳・オス)、ツクシ(6歳・メス)とダイチ(8歳・オス)、ラン(6歳・メス)とロッキー(15歳・オス)、ホノカ(10歳・メス)とコテツ(8歳・オス)の6ペアが同居を始めました。

ホノカ以外のメス5頭は初めてのペアリングとなり、血統の少ないタカオが2頭のメスと同居することとなりました。初めから互いに良い反応(匂いを嗅ぐ・逃避や威嚇が見られない)をするペアもありましたが、初めて対面するオスグマに警戒するメスも多く見られました。それでも、一晩柵越しに顔を合わせていると、なにか分り合えるものがあるのか、翌朝には仲良く匂いを嗅ぎ合っていることがありました。

同居は繁殖期が終わる7月上旬まで行いますが、6月現在はいくつかのペアで交尾行動が確認できています。来冬、無事にクマ達の出産ニュースが

お伝えできるよう、温かく見守っていききたいと思います。

教えて!!

Q & A

○ペンネーム 匿名希望様

Q 飼育員さんが一番好きなクマの仕草はありますか？

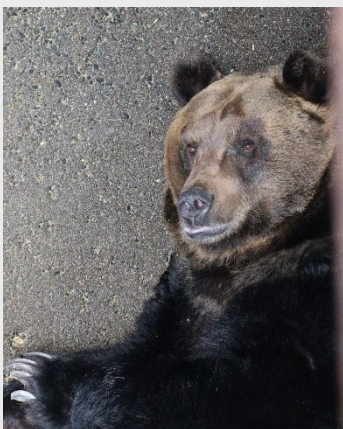
A 基本的にクマがやることはすべてかわいいと思っています！

その中でも特に好きな仕草といわれると、寝ているクマの振り向き際の仕草や顔が好きです！

ちよつと寝ぼけている感じでこちらを見ている目つきや寝返りをして冬の時節だと冬眠中のクマたちは団子になって寝ていることもあるのでそんな姿も愛らしいです。

個体によつて寝相が違ふこともあり、それぞれの寝相を眺めているのも凄く癒されます。

皆様も牧場内で可愛いクマの仕草を見て癒されてくださいー！



寝起きでもイケメンなロッキー

子グマの離乳始めました

子グマたちが生まれて約半年が経ちました。4月に初めて体重測定を行ってから、5頭とも順調に体重が増えています。無事に大きく成長しているため、6月1日から離乳を始めました。

離乳食はクマ用のミルクにクマ用ペレットの粉末を少しずつ混ぜてドロドロにして与えています。与え始めた当初はミルクだけを飲み、ペレットは残していましたが、少しずつ食べる量が増え、今では残さず食べてくれるようになりました。



ペレットの粉末を混ぜたクマ用ミルク=6月18日



ヤナギの葉を食べるルカ=6月15日

また、離乳食以外にもミツバ、ヤナギなどの野草を与えています。ミルク以外のものをしっかりと食べる姿を見ると、成長を実感します。今後もしも子グマの様子を見ながら、少しずつ大人のクマたちと同じ餌に切り替えていく予定です。

子グマ牧場で子グマをご覧になる際はクマ達の餌にも注目して見てみるとまた新たな発見があつて面白いかもしれません！これから子グマたちの成長を温かく見守っていただければと思います。

今月の一食

何にでも

興味津々

子グマさん



飼育員の

推しグマさん

獣医 高橋

私の一推しクマさんは「ノリピー」です！

短い足、ポンポンのお腹、上目遣いが上手でちよつと離れ目なところ、声をかけるとこちらに目を合わせてゆつくり寄ってくるところ、お行儀よくお座りをしてスプーンからおやつをこぼさないようにパクリと食べるお上品なところ…。ノリピーの可愛さ、魅力はこのスペースでは語りつくせないほです。

もう36歳(人間でいうと100歳以上)になるおばあちゃんクマで、この春からは視力の低下から少し弱りが見えにくそうな様子と、足腰の弱りから歩くのが大変そうな様子がありました。ですが、食欲は健在だったためスムーズに投薬も行え、今はまた元気にスタスタと歩いています。毎日薬をあげていたからか、私が獣舎の前を通ると、気づいてこちらに歩いてきてくれるようになりました。



投薬待ちのノリピー

とうとう相思相愛になってしまったようです。クマ牧場で一番ノリピーを愛しているのは間違いない私だと思います。

十三代目



フミオ
ボス就任期間

1988年～1993年



母の雄と言われた「フミ」の息子で、昭和63年から平成5年までの5年間、名ボス「ゴンソウ」に次ぐ長期政権を維持した。最後までボスとしての気力を持ち続け健気に一生を全うした。

公式YouTubeチャンネルで

子グマの寝室ライフカメラ配信中心！

配信時間…17時頃～翌3時ごろまで

